

中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について

中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更については、長崎県土木部建築課から「中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について」の通知(参考送付)があったところです。

これを受け、本市においても、受注者が安心して施工・受注できる環境を整備する観点から、中東情勢の変化に伴う供給の偏りや流通の目詰まりが発生しているナフサ由来の建設資材について、代替資材を調達した場合や流通経路の見直しによる調達を行った場合等に、これらの調達変更により必要となる経費を設計変更により計上する運用を別紙のとおり定めましたので、通知します。

(土木工事においては、長崎県と同様の運用が行われております)

記

1.対象工事

佐世保市発注の営繕工事(設計金額200万円超)

2.設計変更の流れ

別添フロー図を参照

(別添フロー図、参考資料1～4のとおり。)

3.適用年月日

本通知は、令和8年9月1日以降に入札契約手続きを開始する工事に適用する。

なお、令和8年9月1日以前に入札契約手続きを開始した工事(既契約工事を含む)については、購入後であっても受発注者間で協議が整ったものから適用する。

以上

«本通知のポイント»

○対象資材【調達検討資材】 参考資料 1～3 参照 ※参考 2～3 は適時確認

- ・ナフサ由来とする建設資材
塗料、防水材、断熱材、塩ビ管等
※受注者から追加等の申出があった場合は協議に応じる

○設計変更の対象となるケース【別途調達経費※対象資材費も含む】 参考資料 4 参照

- ケース①調達検討資材の代替資材を調達した場合
- ケース②調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
- ケース③調達検討資材を調達した場合(ただし別途調達経費を含む)

○対象数量

- ・別途調達経費が必要な資材の数量

○設計変更における留意点

- ・発注者は起工時に対象工事である事を設計図書に記載
(既契約工事は受発注者間で協議)
- ・受注者は調達検討資材に関する「協議書」(様式 1)及び「実施報告書(証明書類)」
(様式 2)を打合せ簿で提出
※証明書類：取引伝票、見積書、請求書等
- ・提出された証明書類に記載された購入価格を採用
- ・材料費を抽出して確認することが困難な材工一式の単価の場合は、材料費以外の価格
の変更が含まれていない証明書類の提出を受注者に求め、それをもとに別途調達経費を
計上
- ・当運用による設計変更内容はスライド条項(契約書第 26 条)の対象外

営繕工事における「中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた 設計変更について」の運用について

1.目的

本運用は、中東情勢の変化を踏まえ、ナフサを由来とする建設資材について、代替資材の調達や流通経路の見直し等、追加で必要となる内容を設計変更する運用をするに当たり、営繕工事において必要となる手続き、積算方法等を定めることを目的とする。

2.調達検討資材

調達検討資材は、供給の偏りや流通の目詰まりが発生しているナフサを由来とする建設資材とする。

営繕工事においては、塗料(さび止め塗料、塗料用シンナー等を含む)、防水材(シーリングを含む)、断熱材(押出法ポリスチレンフォーム等)、硬質ポリ塩化ビニル管、構造用合板などの資材が想定される。一般財団法人経済調査会や一般財団法人建設物価調査会等の機関により、中東情勢の影響を受け、供給面での懸念や価格上昇の動きが顕在化していると公表されている資材を対象とすることを基本とするが、建設資材の流通状況は日々変動するため、受注者から調達検討資材に関する追加等の協議の申出があった場合には、本運用の主旨を踏まえ誠実に協議に応じることとする。

3.別途調達経費

別途調達経費は、次の(1)、(2)の場合における調達変更により必要となる経費をいう。労務費、機械器具費、仮設材費は対象としない。材料費に連動する専門工事業者等の諸経費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の変更は行わないものとする。

(1)調達検討資材の代替資材を調達した場合

(2)設計図書どおりの調達検討資材を調達するために、流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となる場合(受注者が流通経路を見直して調達した場合も含む)

4.手続き

(1)本運用の対象工事である旨を、以下のとおり契約方式に応じた書面に記載(電磁的記録を含む)する。

- ① 一般競争入札の場合 : 入札公告
- ② ①以外の指名競争入札の場合 : 指名通知書

(2)工事発注時点で、調達検討資材を想定し、発注者は設計図書に対象となる調達検討資材を別記1の記載例を参考に明示する。既契約工事においては、受発注者間の協議の上、調達検討資材を設定する。

(3)代替資材の調達又は流通状況を踏まえた調達経費を別途必要となる調達をせざるを得ない場合には、受注者は、購入する前に「調達検討資材に関する協議書(様式1)」を監督職員に提出し、協議する。調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メール等により協議することも可能とするが、事後、遅

滞なく書面により協議するものとする。

- (4)設計変更に際し、受注者は「調達検討資材に関する実施報告書(様式2)」、調達時期、購入数量、購入単価が記載された実際の取引伝票、見積書、請求書等(以下「証明書類」という)の資料を監督職員に提出する。
- (5)代替資材を調達する場合、受注者は、代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料(カタログ等)を監督職員に提出する。
- (6)設計変更にあたっては、設計図書に代替資材の規格・仕様の記載又は流通状況を踏まえた調達経費を別途必要とする調達をした旨を別記2の記載例を参考に記載する。なお、代替資材を調達する場合、監督職員との協議など、通常的设计変更と同様の手続きが必要なことに留意すること。
- (7)妥当性が確認された別途調達経費について契約変更の対象とする。受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、契約変更の対象としない。
- (8)本運用による設計変更内容は、工事請負契約書第 26 条(スライド条項)の対象外とする。
- (9)設計変更に伴って必要となる工期は、適切に変更を行うこと。
- (10)受注者より疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(別記1)発注時の設計図書における記載例

中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

- 1.本工事は、ナフサを由来とする建設資材について、中東情勢の変化等により供給の偏りや流通の目詰まりにより、入手が困難となっている資材(以下、「調達検討資材」)について、調達変更により必要となる経費(以下、「別途調達経費」)について、設計変更により 計上をする工事である。
- 2.調達検討資材は表一〇とする。これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

表一〇 調達検討資材

資材名	仕様・規格
塗料	
防水材	
断熱材	
硬質ポリ塩化ビニル管	
構造用合板	

(※工事の内容にあわせて、参考資料に記載の項目をもとに記載すること。)

- 3.受注者は、次の①、②のとおり、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員に「調達検討資材に関する協議書(様式1)」を提出し、協議するものとする。
ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メール等により協議するこ

とも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

① 調達検討資材の代替資材を調達した場合

② 設計図書どおりの調達検討資材を調達するために、流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となる場合(受注者が流通経路を見直して調達した場合も含む)

4.設計変更に際し、受注者は、「調達検討資材に関する実施報告書(様式2)」、調達時期、購入数量、購入単価が記載された実際の取引伝票、見積書、請求書等(以下「証明書類」という)の資料を監督職員に提出する。

5.妥当性が確認された別途調達経費について設計変更の対象とする。受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

6.本運用による設計変更内容は、工事請負契約書第 26 条(スライド条項)の対象外とする。

7.疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(別記2)設計変更時の設計図書における記載例

中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更 変更一式

代替資材	資材名
流通状況を踏まえた調達経費が別途必要な資材	資材名

※代替資材を調達した場合は、通常の設計変更と同様に設計図書に特記する。

5.積算方法

(1)設計変更を行う対象数量

- ・参考資料の数量のうち、供給の偏りや流通の目詰まりが発生し、従前の流通経路により円滑な調達が困難となっている期間に該当する数量を、設計変更を行う対象数量とする。(出来高払いを行っている場合を除く。)

(2)設計変更に用いる材料単価

- ・受注者から提出された証明書類に記載された購入価格を使用する。
- ・実際の購入価格が一般的な実勢価格と大きく乖離する場合は、必要に応じて追加資料を求め、その妥当性を確認する。
- ・妥当性が確認できない場合は、購入時期の物価資料に掲載されている価格を使用することができる。

(3)別途調達経費の算出法

- ・(2)で算出した材料単価と設計変更前の官積の材料単価の差額に(1)の対象数量を乗じ、さらに材料費に連動する専門工事業者等の諸経費を加算して求める。
- ・設計変更前の官積の材料単価は、市場単価については市場単価方式へ移行する前の歩掛り等を参考に求める。単位施工単価は、ベース単価の材料費の割合を使用し、求める。
- ・材料費を抽出して確認することが困難な材工一式の単価の場合は、材料費以外の価格の変更が含まれていない証明書類の提出を受注者に求め、それをもとに別途調達経費を計上することができる。なお、証明書類の取扱いは、国土交通省大臣官房庁営繕部「工事請負契約書第 26 条第5項(単品スライド条項)運用マニュアル(案)(営繕工事版)(令和7年 12

月改定)1—5—1 2)実際の購入金額が適当な購入金額であることを証明する書類」を参考とする。

6.適用

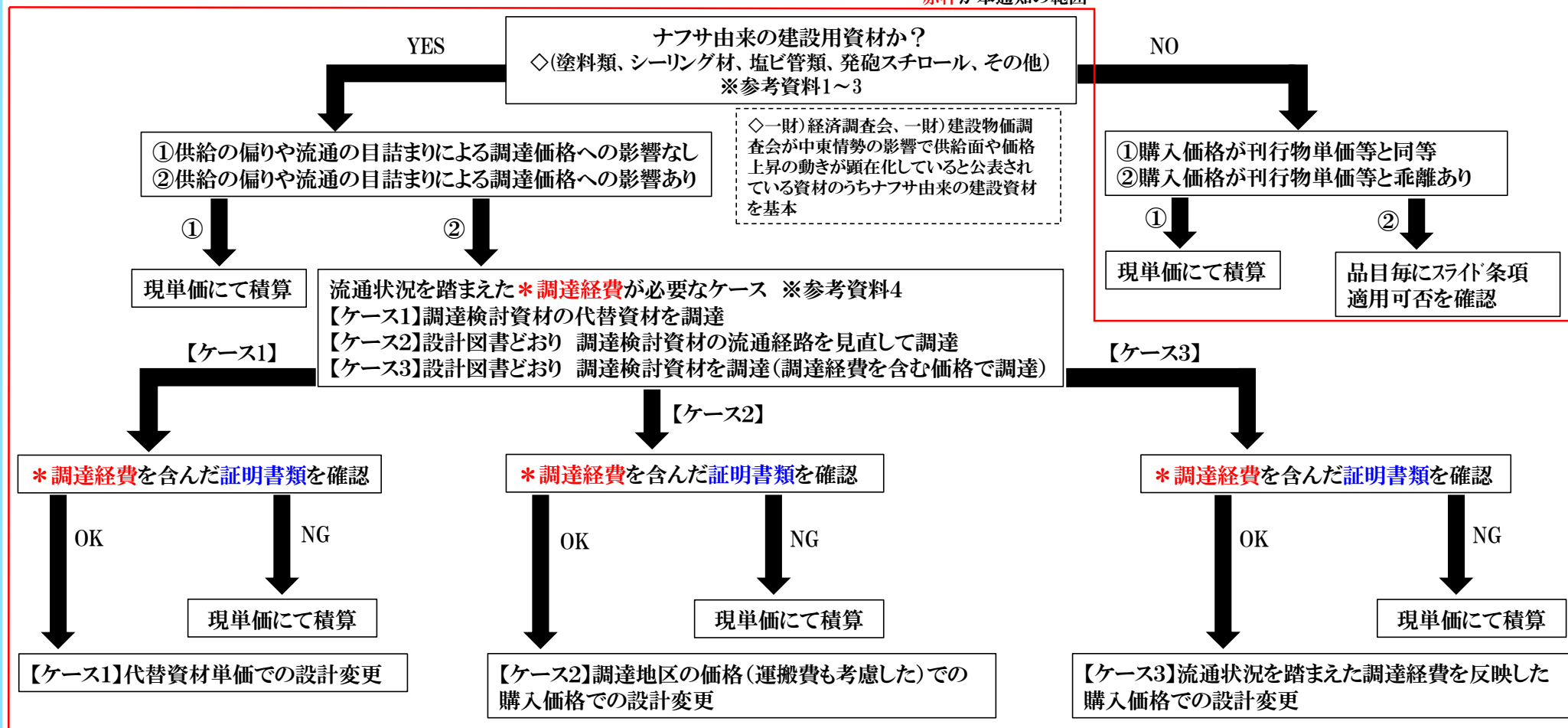
本通知は、令和8年9月1日以降に入札契約手続きを開始する工事に適用する。

なお、令和8年9月1日以前に入札契約手続きを開始した工事(既契約工事を含む)については、購入後であっても受発注者間で協議が整ったものから適用する。

中東情勢の変化に関する建設資材の流通状況を踏まえた設計変更フロー図

別添

赤枠が本通知の範囲



各ケース毎の具体例

【ケース1】塩ビ管を鉄管やコンクリート管に変更による、追加コストが発生。

【ケース2】従前の場所より遠方から調達する必要がある、運搬費が追加で発生。

【ケース3】通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなる、あるいは短納期での確保などにより単価が高くなった、取引先を変更したなど、これまでの通常取引のやり方を見直したもの。

*** 調達経費**・・・代替資材を調達した場合や流通経路の見直しによる調達をする場合等に、これらの調達変更により必要となる経費

受注者は調達検討資材に関する協議書(様式1)を提出し、設計変更に際し実施報告書(様式2)+証明書類(取引伝票、見積書、請求書等)を提出(書類がなければ設計変更不可)

様式1

調達検討資材に関する協議書

種別	資材名	仕様・規格	対象 数量	購入時期 (○年○月)	調達予定 価格	中東情勢 の影響	添付書類 番号

(注)

1.種別は、①又は②を記入する。

①調達検討資材の代替資材を調達する場合

②設計図書どおりの調達検討資材を調達するために、流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となる場合(受注者が流通経路を見直して調達した場合も含む)

2.中東情勢の影響は、「納期遅延」、「価格上昇」、「流通経路変更」等、本運用に基づく協議が必要となった理由又は状況を記入する。

3.添付書類は、調達時期、購入数量及び購入単価が確認できる実際の見積書の写しを監督職員に提出する。①の場合は、代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料(カタログ等)を併せて監督職員に提出する。

4.材料費を抽出して確認することが困難な場合は材工一式価格でもよいが、別途調達経費に該当しない費用(労務費、機械器具費及び仮設材費)の増加費用は含めないこと。

様式2

調達検討資材に関する実施報告書

種別	資材名	仕様・規格	対象数量	購入時期 (○年○月)	購入価格	証明書類	証明書類 番号

(注)

1.種別は、①又は②を記入する。

①調達検討資材の代替資材を調達した場合

②設計図書どおりの調達検討資材を調達するために、流通状況を踏まえた調達経費が別途必要となった場合
(受注者が流通経路を見直して調達した場合も含む)

2.証明書類は、調達時期、購入数量及び購入単価が確認できる実際の取引伝票、見積書、請求書等のうち、必要なものの写しを添付すること。

3.材料費を抽出して確認することが困難な場合は材工一式価格でもよいが、別途調達経費に該当しない費用(労務費、機械器具費及び仮設材費)の増加費用は含めないこと。

・基本単価一覧表掲載の建設資材の内、ナフサ由来とされるもの

区分	コード	名称	規格	単位
塩化ビニル管 (PVC)	TP0941	硬質塩化ビニール管	VM 350mm×4m	本
	TP0942	硬質塩化ビニール管	VM 400mm×4m	本
	TP0943	硬質塩化ビニール管	VM 450mm×4m	本
	TP0944	硬質塩化ビニール管	VM 500mm×4m	本
	TP0951	硬質塩化ビニール管 (RR管)	75mm×5m	本
	TP0952	硬質塩化ビニール管 (RR管)	100mm×5m	本
	TP0953	硬質塩化ビニール管 (RR管)	125mm×5m	本
	TP0954	硬質塩化ビニール管 (RR管)	150mm×5m	本
	TP0955	硬質塩化ビニール管 (RR管)	200mm×5m	本
	TP0956	硬質塩化ビニール管 (RR管)	250mm×5m	本
	TP0957	硬質塩化ビニール管 (RR管)	300mm×5m	本
VP管	TP1105	硬質塩ビ管VW	30mm×4m	本
	TP1110	硬質塩ビ管VP	100mm×4m	本
	TP1112	硬質塩ビ管VP	150mm×4m	本
ポリエチレン製品	TP1441	高密度ポリエチレン管 (ダブル)	φ75	m
	TP1442	高密度ポリエチレン管 (ダブル)	φ100	m
	TP1443	高密度ポリエチレン管 (ダブル)	φ150	m
	TP1485	ポリエチレン薄肉吸水管	φ50×4m	m
シート・樹脂製品	TP2176	止水板 (塩ビ製)	150×5 CF	m
	TP2180	止水板 (塩ビ製)	200×5 CF	m
	TP2510	ブルーシート (PE)	#2000	m ²
	TP2515	ブルーシート (PE)	3.6m×5.4m	枚
	TP2516	土木シート (塩ビ系)	t=1.5mm	m ²
	TP2518	ビニールシート	t=0.1mm	m ²
	TP2520	埋設表示シート	幅150mm	m
	TP2555	土のう (PE)	62×48cm	袋
樹脂製側溝蓋	TT1861	レジン集水蓋	300用 T-25	枚

積算資料 石油系資材ウォッチ

2026
7

《臨時速報》原油価格上昇に伴う、建設資材への主な影響について

背景

中東情勢の悪化に伴い原油価格が上昇、その影響が一部の資材を直撃している。そのため、原油価格の動向が市況に影響する資材について、主なものを臨時速報する

留意点

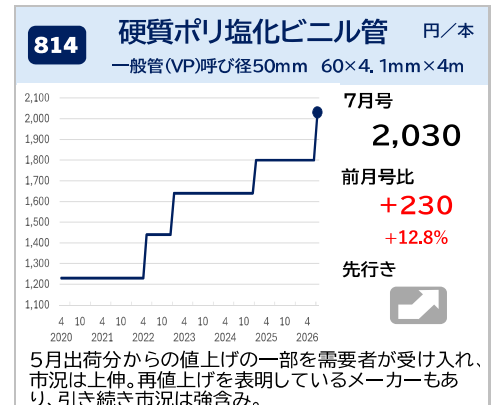
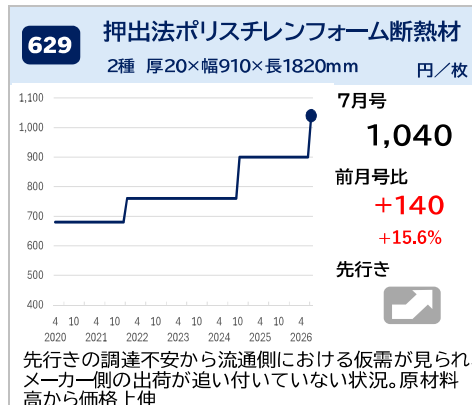
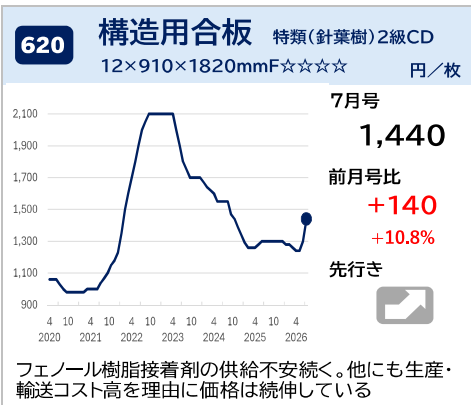
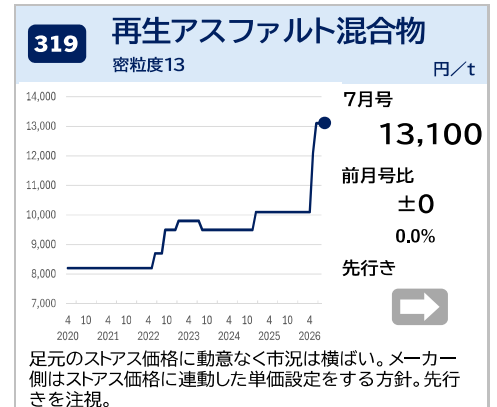
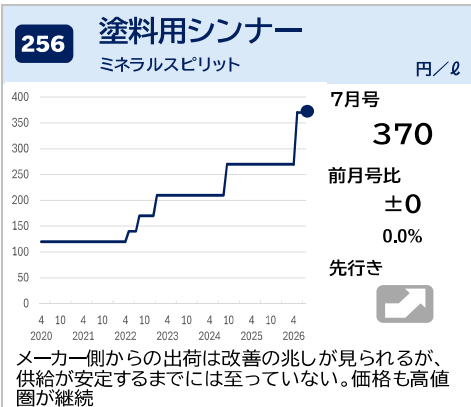
資材単価のご利用に当たっては、積算資料 最新号の価格情報をご参考ください



(東京地区)

積算資料 ページ	品名	規格	原油動向の影響について			価格見通し		コメント
			影響度	需給 リスク		来旬	来月	
100	生コンクリート	21-18-20N	セメント+輸送	中	中	横ばい		協組がバトロール給油の供給状況を注視
230	型枠はく離剤		原油	中	中	横ばい		一部メーカー側で出荷停止・制限の動き
251	鉛・クロムフリーさび止めペイント	JIS K 5674 1種	ナフサ	強	中	強含み		メーカーからの出荷は改善傾向も安定供給には至らず
256	塗料用シンナー		ナフサ	強	中	強含み		メーカーからの出荷は改善傾向も安定供給には至らず
259	軽油	ローリー	原油	強	中	横ばい	横ばい	補助金支給により、横ばい推移
261	潤滑油		原油	強	中	横ばい	横ばい	メーカー側で出荷停止・制限の動き
319	再生アスファルト混合物	密粒度13	原油+燃料+輸送	強	小	横ばい		プラントが随時改定、地域差あり
330	ストレートアスファルト	針入度60~80 ローリー	原油	強	中	横ばい		大手元売は価格改定せず、横ばい
331	アスファルト乳剤	PK-3 PK-4	原油	強	中	横ばい		メーカーの値上げが進み、市況上伸
332	ポリマー改質アスファルトⅡ型	耐摩耗用 耐流動用	原油	強	中	横ばい		メーカーの値上げが進み、市況上伸
525	NATM工法用シート	EVA+透水性緩衝材	ナフサ	中	大	強含み		一部メーカーで値上げ打ち出し
538	目地板		原油、ナフサ	中	中	強含み		一部メーカーで出荷調整の動き
577	防水材		原油	強	中	強含み		原材料高騰により市況強含み
578	建築用シーリング		ナフサ	中	中	強含み		大手メーカー各社で値上げ打ち出し
583	屋根下葺材		原油	強	中	強含み		一部メーカーで値上げ打ち出し
620	構造用合板	特類(針葉樹)2級CD12×910×1820mmF☆☆☆☆	ナフサ+輸送	中	中	強含み		フェノール樹脂接着材に供給懸念。
629	断熱材	押出法ポリスチレンフォーム	ナフサ+輸送	中	中	強含み		原材料高騰により市況強含み
814	硬質ポリ塩化ビニル管	一般管(VP)	ナフサ(PVC)	中	中	強含み		一部メーカー側で出荷停止・制限を継続

※軽油・A重油については毎月上旬・中旬・下旬発刊「デジタル物価版」で価格情報を速報しています



中東情勢緊迫化に伴う建設資材価格・需給動向（調査）

参考資料 3

— 中東情勢の影響が懸念される主な建設資材 —

※月刊『建設物価』2026年7月号 東京

ホルムズ海峡の海上輸送リスク・原油価格上昇を背景に、石油系原料依存度の高い資材で影響が顕在化

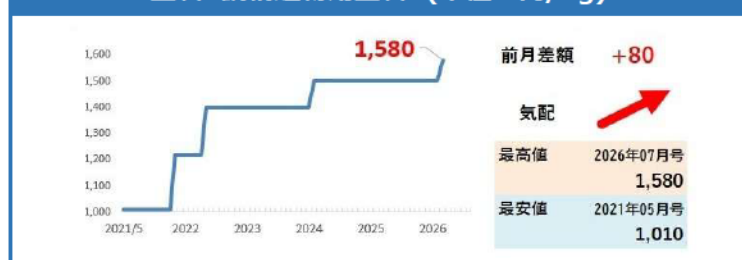
2026年6月上旬調べ

2020年6月15日時点

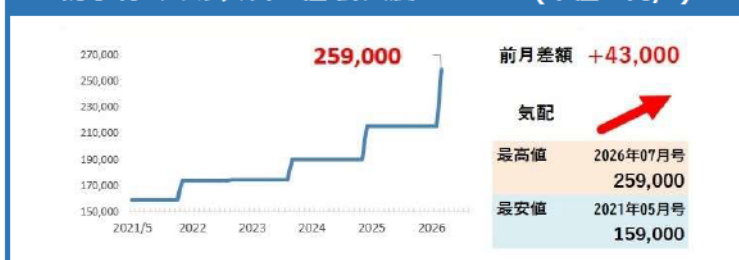
品名	規格	単位	価格動向			需給動向		原料系統	概況(要点)	掲載ページ
			価格	前月比	気配	現在	見通し			
塗料	鋼構造物用塗料 (変性エポキシ樹脂 下塗り塗料)	kg	1,580	上伸	強基調	ひっ迫	ひっ迫	ナフサ	値上げ表明を背景に注文急増。一部製品で受注停止・出荷調整により納期遅延が継続。資材確保を優先する需要家は値上げを受け入れた。	197
塗料用シンナー	比重0.79	ℓ	370	横ばい	強含み	ひっ迫	ひっ迫	ナフサ	サプライチェーンの目詰まりを背景として続いていた需給ひっ迫は、依然解消に至らず。主要各社で受注再開も進むが、数量制限・納期未定の条件付き対応にとどまる。	199
再生アスファルト 混合物	密粒度13 (東京14区)	t	13,000	横ばい	横ばい	均衡	均衡	アスファルト	主原料ストアスは前年実績ベースの供給を維持し支障なし。メーカー各社はストアス高止まりによる製造コスト増加分の製品価格への転嫁に向け交渉を継続している。	211
防水材	防水工事に用 アスファルト3種 針入度20～40 (25kg袋)	t	259,000	上伸	強基調	ひっ迫	ひっ迫	アスファルト	原材料価格の高止まりが続く中、今後も供給制約や追加の価格改定が継続する可能性が高く、資材調達や工期への影響に留意が必要な状況にある。	456
建築用断熱材	押出法ポリスチレン フォーム1種bC 30×910×1820	枚	1,680	上伸	横ばい	ひっ迫	ひっ迫	ナフサ	石油化学系原料依存で供給制約継続。6/1出荷分でさらに価格改定、緊迫化前比で大幅上伸。複数社が追加価格改定を示唆し、当面は調達コスト高止まりと数量制約が同時に継続する見込み。	516
硬質ポリ 塩化ビニル管	VP100 4m	本	5,600	上伸	強基調	ひっ迫	ひっ迫	ナフサ	塩ビ樹脂等の原材料調達不安定で供給制限継続。塩ビ管メーカー各社は相次いで追加の価格改定を実施しており、その一部が浸透。先行きも強基調で推移する見通し。	688
軽油	ローリー	ℓ	127	上伸	強基調	やや ひっ迫	やや ひっ迫	原油 (軽油)	政府の備蓄放出・代替調達拡大で直ちに供給が懸念される情勢ではない。インタンク向け等も緩和方向でタイト感は落ち着く。激変緩和措置で価格抑制継続。	788

◆ 主要品目 価格推移グラフ

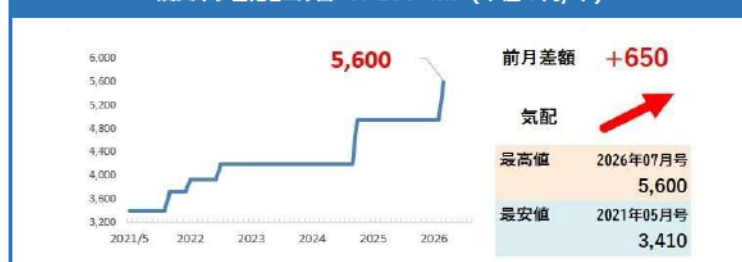
塗料 鋼構造物用塗料 (単位: 円/kg)



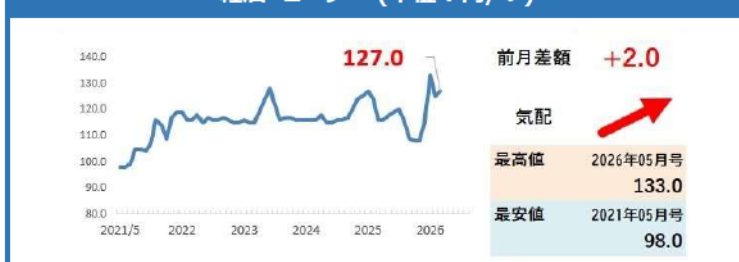
防水材 アスファルト3種 針入度20～40 (単位: 円/t)



硬質ポリ塩化ビニル管 VP100 4m (単位: 円/本)



軽油 ローリー (単位: 円/ℓ)



【価格】赤字: 前月上伸 黒字: 前月変わらず 青字: 前月下落

【前月差額】2026年7月号(東京)と2026年6月号(東京)を比較

【気配】2026年7月号(東京)時点での価格見通し

【最高値・最安値】2021年5月号以降の最高値と最安値を表示。なお、最高値、最安値の表示月号はその価格を最初に記録した月号を表示

お問い合わせはホームページの掲載内容、その他に関するお問い合わせからお願いします

問い合わせ先: 一般財団法人 建設物価調査会 調査統括部

- 国土交通省では、昨今の中東情勢の変化に伴うナフサを由来とする建設資材について、供給の偏りや流通の目詰まりの解消に努めているところ。
- 受注者が安心して受注・施工できる環境を整備する観点から、ナフサを由来とする建設資材について、代替資材の調達や流通経路の見直し等、追加で必要となる内容を、受発注者間協議の上、設計変更する運用を、直轄工事において導入。

